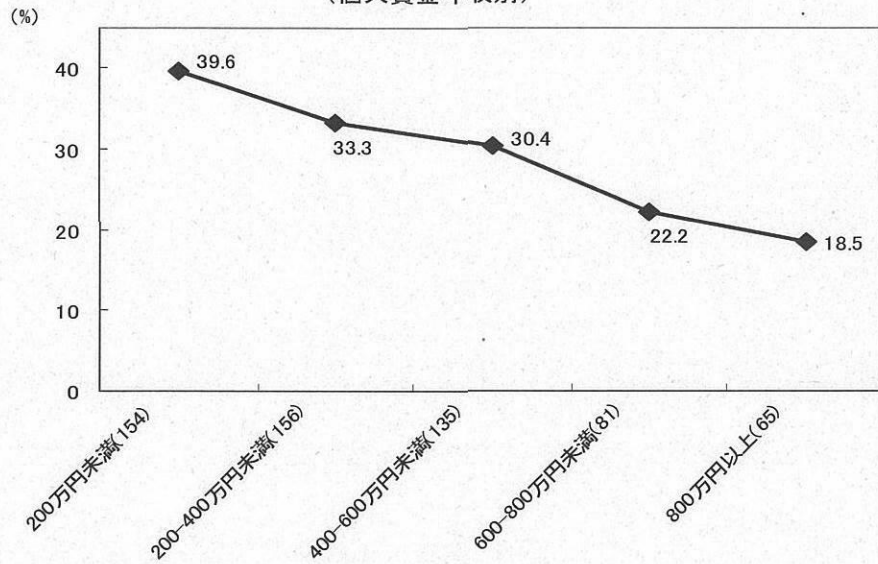


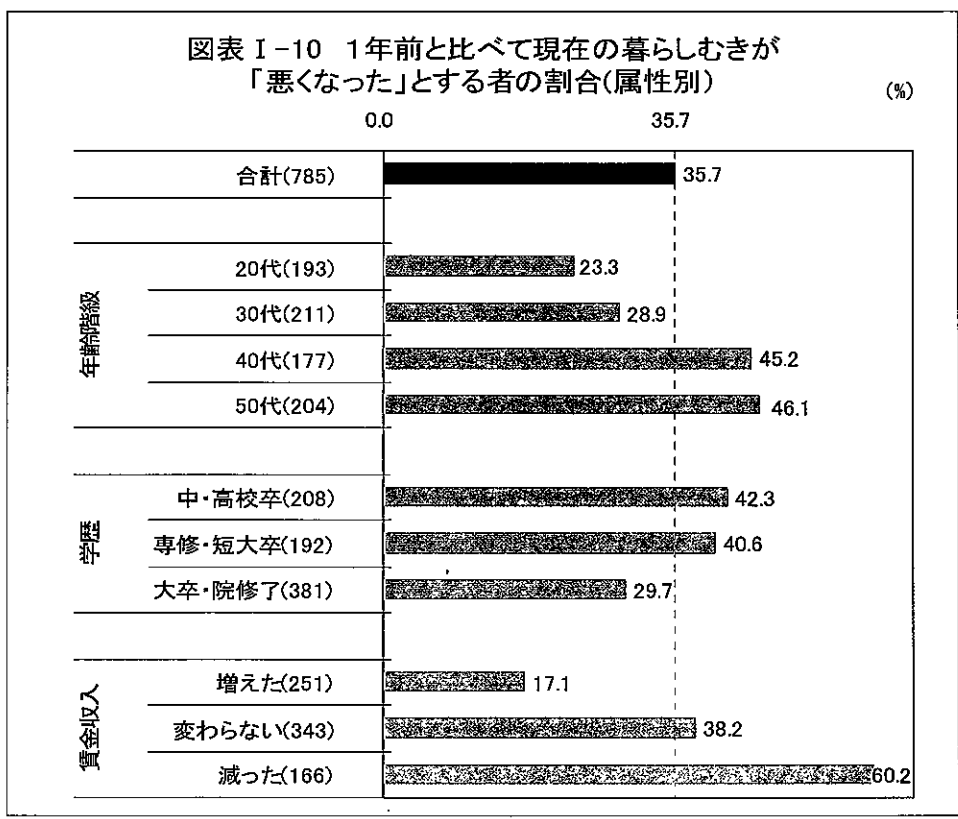
図表 I-9 食料品を今後節約しようと思っている割合  
(個人賃金年収別)



(注1) ( ) 内は各グループの人数(N)を表す。  
(注2) 無回答を除いて算出

○ 暮らしむきの現状・見通し —40・50 代や今後賃金の減少を予想する層で、「悪くなった」「悪くなる」が高い値— (問 19、20)

・ 世帯の暮らしむきが1年前と比べて悪くなったとする者、今後1年間に悪くなると予測する者の割合は、40代・50代や、今後1年間に賃金収入が減ると予想している層などで比較的高い(図表 I-10、I-11)。賃金収入は、勤労者の暮らしむきの判断に影響を及ぼしている可能性。

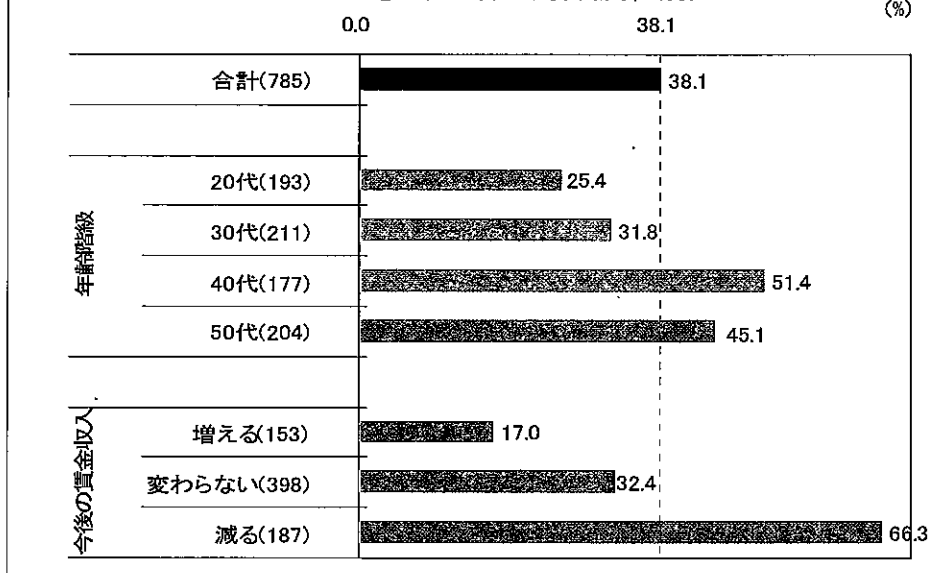


(注1) <悪くなった> = かなり悪くなった + やや悪くなった

(注2) ( ) 内は各グループの人数(N)を表す。

[参考] 60代前半: 31.8%

図表 I -11 現在と比べて今後1年間の暮らしむきが「悪くなる」とする者の割合(属性別)



(注1) <悪くなる>=かなり悪くなると思う+やや悪くなると思う

(注2) (注) ( ) 内は各グループの人数(N)を表す。

[参考] 60代前半: 41.8%